

# 張り方と保存管理について

## 1. スクリーンの張り方

台風対策は早めに行ってください。熱帯低気圧が発生し、台風が発生する可能性がある場合は、時間に余裕をもってスクリーンを張りましょう。風が強い時はスクリーンが風を受けて張り難くなる場合がありますのでご注意ください。

アストロフレックスの場合は、張る前にスクリーンを1-2時間広げておくと繊維のしわが伸び、スクリーンは張りやすくなります。

アストロガードの場合は逆に熱くなると繊維が多少縮むので、張るまでは涼しいところに保管してください。

ソーラーガードの場合は、熱等による伸び縮みは一切ありません。

オスアンカーを使っている場合は、キャップを外して保管する。スクリーンをアンカーに掛けて、蝶ネジを蝶ネジソケット等でスクリーンを仮止めします。一番最後に本締めをしてください。

メスアンカーの場合は、ステンレスボルトを抜いて、フラットワッシャーあるいはゴム付きステンレスワッシャー(大)+スプリングワッシャーを付けて、クリップを通して手で軽く穴にねじ込みます。最初からインパクト等の電動工具で無理にボルトをはめようとする、ねじ山がつぶれる原因となります。最初はドライバー又は手で軽くねじ込み、一番最後にインパクト等の電動工具で本締めを行ってください。必ず3番のビットを使用してください。先が小さい2番ビットではボルトのプラス部分を傷付けてしまいます。特に90°の場合は必ずスプリングワッシャー使ってください。

台風後はスクリーン全体を水洗いし、完全に乾燥してから保管してください。アンカー、クリップ、ビス、ネジ(ボルト)の不具合がないかチェックしてください。不具合があれば販売店に連絡し、補修や交換を早めに行ってください。またスクリーンを外す際はアンカーに錆止めスプレー等の防錆油の添付を行ってください。

\* 蝶ネジソケット

\* 90°のクリップ+スプリングワッシャー

\* 3番プラスドライバー



## 2. スクリーンのメンテナンス

アストロフレックス、ソーラーガード、アストロガードは共にスクリーン自体は基本的にメンテナンスフリーです。ただ、台風後は必ず水洗いをし、完全に乾燥した状態で保管する事は大切です。特にアストロガードは濡れたまま保管すると、カビが発生する場合がありますのでご注意ください。アストロフレックスとソーラーガードはカビの心配はいりません。

スクリーンが汚れた場合は中性洗剤を使用して洗って下さい。常設のソーラーガードは年2回程度洗って下さい。漂白剤、研磨ブラシ等スクリーンを傷付ける恐れのある物の使用は避けて下さい。

ソーラーガードは日除けと台風対策兼用の世界唯一の多目的ハリケーン・ファブリックです。紫外線の劣化に対して、メーカーの10年保証がついています。

アストロフレックスは本来の使い方で、つまり台風時のみにスクリーンを張れば、紫外線の影響は受けません。アストロフレックスやアストロガードは台風対策商品で日除け商品ではないですが、日除け効果もありますので、多くのお客さんはスクリーンを常時張っています。一年の無償保証期間では紫外線による劣化はしませんが、張りっぱなしなどの場合は生地に変化がないかを定期的にチェックして下さい。アストロフレックス(ベージュ)は常時張り付ける場合は2-3年以内、アストロフレックス(黒)は3-5年以内、アストロガード(白とベージュ)は5年以内を目処に生地の張り替えを行って下さい。張り替えの場合は生地を特別価格で提供していますので、早めに販売店にご相談ください。

### 3. アンカーとクリップのメンテナンス

台風後は必ず水洗いをしましょう。台風の有無に関わらず、定期的に水洗いをし完全に乾燥させてから錆止め処理を行って下さい。

オスアンカーは錆止めスプレー等の防錆油の添付は定期的に行い保護キャップを付けて下さい。台風後には必ず水洗いをし錆止め処理を行って下さい。重要：メスアンカーを使う場合、スクリーンを張っていない時もキャップをつけるかステンレスボルト（ネジ）をそのままアンカーにはめておきます。その場合は小さいゴム付きワッシャーを必ず一緒にはめてください。使用しないと錆の原因となります。台風の際にこのゴム付きワッシャー（小）がスクリーンの振動によって潰れることがあります。その場合は早めに交換してください。また、ゴム付きワッシャー（大、別売品）は台風に潰れず長期的に利用でき、メンテナンスは簡単ですのでお勧めします。

メスアンカーも錆止めスプレー等の防錆油の添付を台風の度に必ず行って下さい。スクリーンを張る、あるいは外す時、また定期的にアンカーの頭部分と内部に錆止めスプレーやグリース等の防錆油の添付を行って下さい。メスアンカーは頭の部分にさび止めペンキを塗ることも効果的です。特注のステンメスアンカーはメンテナンスはしやすいのでおすすめです。

なお、万が一ネジが取れなくなった場合は、付属品のボルト・ドライバーを使えばはずれます。

台風後、また台風シーズンが終わった際にアンカーやクリップの不具合がないかを確認し、必要な場合は販売店に連絡し、修理や交換を早めに行ってください。

- ゴム付きワッシャー（小）
- ゴム付きワッシャー（大、別売品）
- ゴム付きワッシャー（小）とメスアンカー
- ボルト・ドライバー
- ステンレスメスアンカー



## 4. 消耗品の交換

メスアンカーは突出がなく平らに仕上がりますので床面などでも安全に使用できます。スクリーンを実際に張る際は、ボルトをクリップ中心の穴へ通し、プラスドライバーか手で仮留めします。最後にインパクト等の電動工具で本締めをします。最初から電動工具等で無理にねじ込もうとすると、アンカーのねじ山がつぶれますのでご注意ください。90°のクリップの場合、フラットワッシャーあるいはゴム付きステンレスワッシャー(大)+スプリングワッシャーが必要になります。

メスアンカーにはステンレスボルトとゴム付きステンレスワッシャー(小)が標準で付きます。本来はこのゴム付きステンレスワッシャー(小)は台風時ではなく、スクリーンを張っていない時に使います。このゴム付きステンレスワッシャー(小)を使わないと時間が経つに連れて湿気がアンカーの内部に浸入し、腐食の原因にもなります。台風時にこのゴム付きステンレスワッシャー(小)をそのまま使いますと、ゴムの部分が潰れたりしますので必要に応じて交換を行って下さい。また、別売で大きくて強固なゴム付きステンレスワッシャー(大)もご用意しています。径が25mmで大きく、スプリングワッシャーと兼用できますので台風でつぶれることはほとんどありません。長期的に使用していただけます。

\* ゴム付きワッシャー(小)

\* ステンレスボルト

\* 蝶ネジ

